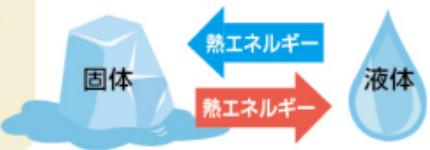


保冷剤・蓄熱材のしくみ

保冷剤・蓄熱材とは…

物質が他の形へ変化する
(例: 固体→液体・液体→固体) 時に
出入りする**熱エネルギー**を利用した
ものです。



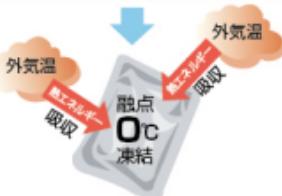
温度

例: 水の場合



変化している間の物質の**温度は一定**

熱エネルギーが物質の温度上昇で
なく固体から液体へ状態変化を
させる方へ熱エネルギーを消費さ
せる為、温度は一定に保たれる。



20°C

水の融点は
0°C

蓄熱材や保冷剤はこの性質を利
用して、外部からの熱エネルギーを
吸収または放出し、温度を一定に
維持しようとします。

0°C

-18°C

時間

固体

固体 + 液体

液体

水の変化する温度(融点)は **0°C** ですが、
蓄熱材は**状態変化する温度を任意の温度に製造することが可能**です。

キープサーモ®プラス「KTP+4」の場合

「KTP+4」の状態変化する温度(融点)は **4°C** です。

4°Cで固体+液体へと状態変化を起こし、その間 4°Cを維持する力を発揮します。